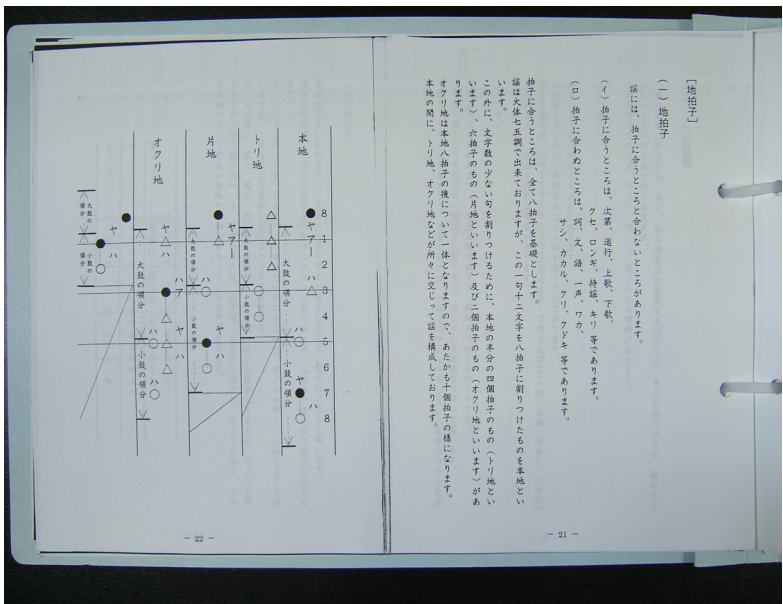
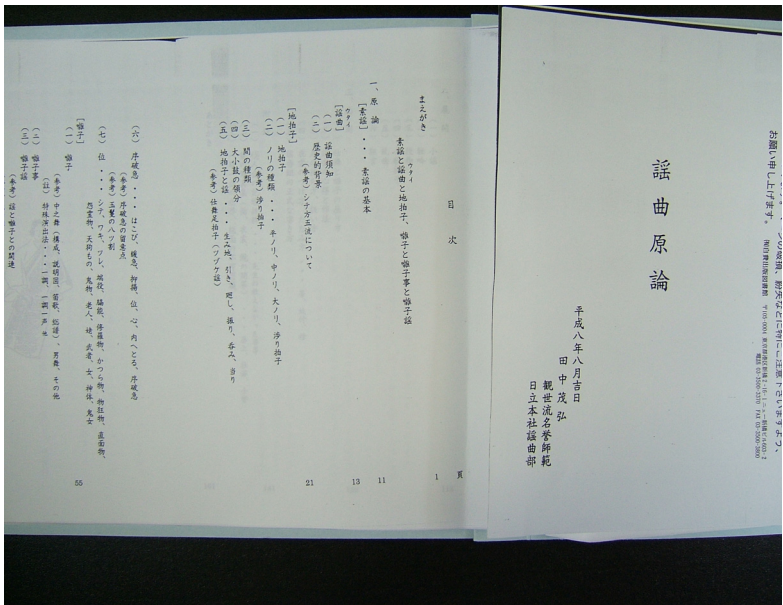


田中茂弘 『謡曲原論』

著者は日立本社謡曲部。素謡学習者が最低限知っているべき知識、習慣、作法を簡潔に解説する。地拍子については約三十頁を費やす。二つ引きと三つ引きが、拍子の寸法においては同じであると述べる等、教えは実践に即している。間が句末に（引きの長さとして）あるのではなく、句頭に（謡い出しの位置として）あるということへの注意喚起も、実践にもとづいた関心から生まれた記述である。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…

著者 奥附…

その他の場所…

出版 版次…

出版地…

出版社…

出版年…

その他の場所…平成8年(1996)

形態 冊数…一冊 頁数…

寸法…

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…複写

備考 自費出版図書館蔵のものを部分的に複写

したもの。